

ゆうゆう通信

令和5年9月10日発行 第47号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



「魚釣り」をして楽しみました。
タイやカツオ、カジキを釣り、
思わず大歓声をあげました

7月28日に2階で夏祭りを行いました。午前中利用者様に赤や青、黄色などの法被を着て頂き「輪投げ」と「魚とお菓子釣り」をしました。「輪投げ」は10本の輪を点数が書かれている的にめがけて投げました。手を伸ばして、狙いを定めて丁寧に投げていらつしやる姿が多くみられました。景品に選べるジュースが出ました。「魚釣り」はタイ、カツオ、カニ、カジキ、フグ等々の海の幸が釣れました。空き缶を釣り上げてみんなで大笑い！ということもありました。お菓子釣りは半透明のかわいい袋に入って、開けるまで「お楽しみ♡でした。皆様とても器用に釣っていらつしやいました。「こんなことができるとは思わなかった」「楽しかった、ありがとう」等の声が聞かれました。お昼はうなぎとすいか、ノンアルコール飲料等を味わいました。午後の太鼓鑑賞へ続きます！



遥太鼓による
圧巻のパフォーマンス！



午後からは職員も所属している遥(はるか)太鼓の生演奏がありました。遥太鼓の演奏は実に4年ぶり！利用者様が集まっていた行事も久しぶりでした。各場所に貼られた夏祭りのポスターを見て、遥太鼓の演奏が聴けると利用者様はもちろん、職員もこの日を心待ちにしていました。遥太鼓の皆さんは和太鼓奏者として有名なアート・リーさんに師事されており、ゆうゆうでの演奏の為に練習を重ね「秩父屋台囃子」を含む4曲とアンコールに1曲の計5曲披露してくれました。目の前に並ぶ太鼓から激しくもリズムカル、息の合った迫力のある音が会場いっぱい響き渡りました。響き渡る太鼓の音、何より笑顔で楽しんで演奏している遥太鼓の皆さんの姿に利用者様も自然と笑顔になり、音を体で感じ手拍子が生まれました。「ずっと楽しみにしていたの」「生の太鼓は迫力があっていいな」「今日ゆうゆうにおれてよかった」「また聴きたいな」との感想が口々に聞かれました。体の芯、心の奥まで響く迫力ある太鼓の音に感動と力をもらえた夏のひと時でした。



3FA

夏祭り

3階Aチームでは、7月28日に午前、午後のお茶の後に、魚釣りや、ビーチボールバレーを行いました。魚釣りでは、時間制限内に何匹釣れるか競争をしました。皆さん真剣なまなざしでもとも集中されていました。ビーチボールバレーもいつもよりも元気に参加できている方が多くいらっしゃいました。また、独自の取り組みとして、7月は空いた時間に暑中見舞いのはがき作りをしました。白いはがきに夏の野菜を筆で書いて絵手紙風に仕上げたり、下絵が書いてあるはがきの花を好きな色で色塗りをしたりして、夏の挨拶を筆で書いて頂きました。

8月に入ってご家族が来所した際に渡すようにしました。ご家族からこういう字や絵を書く機会は嬉しいと言っていました。今後もより多くの皆さんが楽しめる行事ができるとよいと思います。

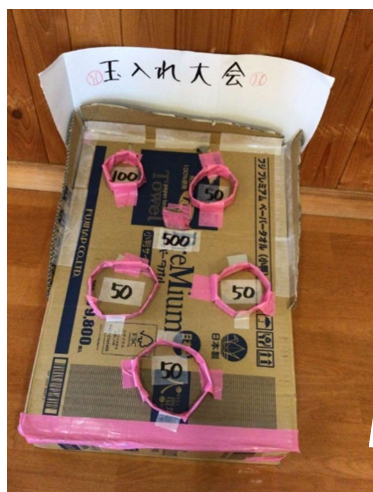


3FB

七夕祭り

7月12日に七夕祭りとして、夏祭りを感じてもらおうと、金魚すくいとお手玉投げを企画しました。事前に、利用者様には短冊に願い事も書いてもらい笹に飾りました。「健康で長生きできますように」「元気になつて早く家に帰れますように」と、書かれた短冊を飾りました。当日は、大きなタライに金魚やアヒルを浮かべて網ですくってもらいました。動かない金魚たちでしたが、「昔を思い出すなあ」と必死になり破れない網で沢山すくい、楽しい時間を過ごしました。お手玉投げも、的をめがけ必死になって投げてみんなで盛り上がりつつ楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

今年は、例年以上に暑い日が続いています、暑さを忘れる程、楽しい時間を過ごす事が出来ました。



祭) デイケア夏祭り

恒例のゆうゆうデイケア「夏祭り」を、8月23～25日に行いました。今年は、午前中は縁日と題して、ヨーヨー、駄菓子、おみくじを楽しみました。ヨーヨー釣りは、子供の頃を思い出して、皆さん夢中で水風船を釣っていました。おみくじでは「大吉」を引いた方にはデイケアで作ったお野菜セットをプレゼントしました。お昼には五平餅を食べました。ペロッと2本平らげて、おかわりをされる利用者様もいらっしゃいました。

午後からは暑い中でしたが、皆さんタオルをかぶり、デイケア初の昼花火を楽しみました。その後は、龍峡小唄や飯田りんごを一緒に踊り、お神輿でさらに盛り上がりつつ幕を閉じました。暑い夏の思い出がまた一つできました。



ゆうゆう農園

今年もデイケア農園では利用者様と一緒にたくさん野菜を苗から植え、育てています。『きゅうり、ナス、トマト、ズッキーニ、ピーマン、枝豆、ゴーヤ、オクラ、シシトウ』と9種類の野菜が畑やプランターに植えられました。暑さが続き雨も少ないためスタックが交代で水やりを行いながら、元気にすくすく成長していく野菜をみては食べごろを伺っています。昔から畑作業をされていた方は慣れた手つきで作業をしてくださり、土いじりをしている姿はとてもいきいきとした表情をされています。作業ができなくても畑作業へのアドバイスで参加してくださる方もいらっしゃいます。収穫を楽しみにされている方は、手塩にかけた立派な野菜が取れると嬉しそうに微笑まれています。



デイケア避難訓練

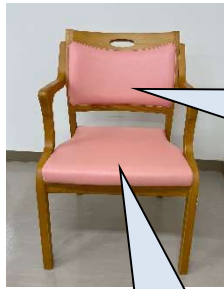
毎年実施してきた利用者様も一緒に参加しての避難訓練は、4年ぶりの実施となりました。5～6月に日本各地で続いた地震を受け今年初めて地震発生時の対応から訓練をしました。地震発生時はその場で頭部を手等で守ってもらい職員は危険な状態の利用者様がいないか確認し、揺れが落ち着いてから避難開始です。まずはテラスに1次避難。4年前と比較すると利用者様の車椅子を必要とする方が増えました。その為車椅子への移乗介助を行いそれを繰り返して避難誘導しました。ベッドのまま避難して頂いた方もいます。全員の避難確認後、公園のあずま屋までの2次避難を行いました。避難開始から完了までおよそ10分でした。

有事への備えは物品のみならず心の準備も必要と感じました。暑い中ご協力いただいた利用者様に感謝いたします。



椅子を順次更新していきます

この度ゆうゆうでは、開設以来使用している食堂の椅子を順次更新していく事となりました。新しい椅子は、暖かなピンク色で、ゆったり幅の45センチ、肘掛けはテーブルから出入りしやすい「ハーフアーム」になっています。先端は三角になっており立ち上がりやすくなっています。この椅子を今回は3階Aチームから順次入れ替えていきます。是非座っていただき使い勝手をご確認ください。



体にフィットする大き目の背もたれ

三角グリップで立ち座りサポート

ゆったり幅 45cmの大き目の座面

出入りがしやすいハーフアーム



環境整備を行いました

ゆうゆうでは、施設を利用される皆様より快適に過ごしていただけるよう施設及び施設周辺設備の美化活動や緑化活動として、施設環境整備作業を年2回実施しています。

1回目は6月7日に、施設の周囲や駐車場の草取りとごみ拾い、送迎用車両の洗車と清掃、非常食備蓄用区画設置のための倉庫の整理を行いました。

この作業はコロナ禍の期間は、少数の職員で行ってききましたが、今回は新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更されたこともあり、職員に加えて施設近隣にお住いの3名の方がボランティアとして作業に参加してくださいました。代表の森下たまきさんからは、「ゆうゆうをお借りして朝ラジオ体操でお世話になっているので、何か協力できることがあればと思い参加させていただいた。これからはこのような機会があれば声をかけてほしい。」とお話がありました。また、前日には上郷小学校5年生の皆さんも地域美化活動の一環として、施設周辺の草取りとごみ拾いを行っていただきました。これからも地域の皆さんに支えられながら、施設を利用される皆様や地域の皆様に親しまれる施設であり続けられるよう事業活動を行ってまいります。

非常時の食事について

ゆうゆうでは、地震や豪雨などの災害時を想定し、朝食、昼食、夕食の3回分の非常食を3日分用意しています。6月7日に行った環境整備の際に、献立を基に非常食の並び替えを行いました。その後、全職員が「どこに」、「何日目の」「いつ」の食事があるのかを確認し、周知を行いました。

万が一の災害時にも、安心して過ごしていたけるようゆうゆうでは食事も備えています。



倉庫内の非常食の様子。全てメニューが決まった3日間分の食事が用意されています。

編集後記

話題と言ったら、この暑さでしかないですね。温暖化を超え、沸騰時代とか。夏の暑い時には冬が好きだと言い、冬には夏と。さすがにこの暑さまで来ると、もう夏とは言えないですね。それでも私は夏派です。皆さんはどちらが好きですか？
(木)